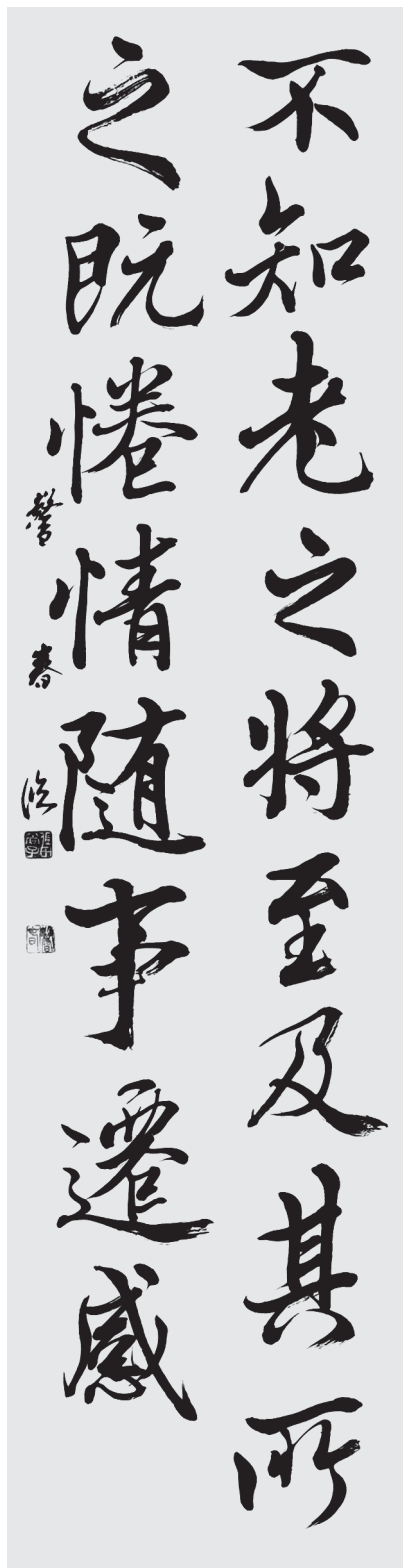




条幅規定

師範正 小野 清舟

柔らかな羊毛筆を駆使しながらもリズムに乗った温かく粘りのある線質と文字の大小、浮沈の変化や余白の美しさなどで作品に存在感や生命感を感じる。これに大胆さを加え、新境地をみたい。

条幅随意(臨書)

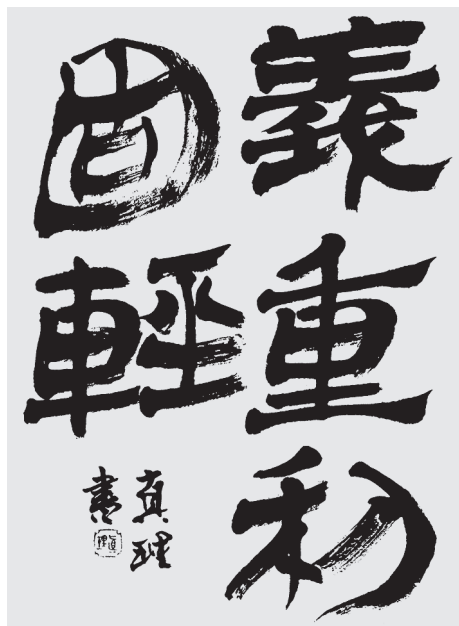
師範正 佐田 馨春

一点一画丁寧に構築された安定した骨格でまとめあげた腕は、日々の努力と書く楽しさも感じさせてくれる。これからは、落筆の変化や気脈、点画の流れにも意識を集中させ、立体感を増そう。

条幅随意

師範正 秦 鶴芳

リズムに乗った自然な筆捌きで、抑揚の効いた深みのある線に生命感が増わり、味わいのある表現力豊かな作品となった。日頃から手本にない構成や表現を心掛けることは、芸術書道の第一歩です。



半紙規定

師範正 鳥飼 真理

リズムに乗った筆勢と潤渇を効かせた線が作品に躍動感を与え、一気呵成に書き進んだ迷いのない線に魅力を感じる。もう少し線に墨を乗せ深みが増すと次の扉が開くであろう。



半紙随意

師範正 藤塚 真弓

ぐいぐいとリズムに乗って紙面を圧倒していく姿に感動します。筆が宙に舞い、躍動し、飛躍する。流れに生命を与え、大胆にそして自然に表現された師範正らしい快作。期待大。



半紙随意(臨書)

師範正 平田 春蓉

線に抑揚を効かせながら無理のない自然な筆捌きが、艶のある線と洗練された造形美を生み、バランスのとれた完成度の高い作品となった。努力と研鑽が実った快心の一枚だ。



半折 $\frac{1}{2}$ 縦

師範 久保 象雲

高校生の作品かと間違えるほどのバイタリテイのある線が他の作品を圧倒し、存在感十分な作品。日頃の鍛錬に加え、食のパワーがさらに線に生命力を与えたのかもしれない。油の乗った健康的な作に感動する。



学生部条幅 (1/4)

中三 準特待生 高橋 実瞳
温か味のある線で伸びやかに書
けています。継続は力なり。の
通り、名前まで堂々と書けた見
事な作品です。今後更に期待し
ています。

のだゆうか
小一 準3級
一ねんせいとは
おもえないほど
かたががきれ
いふでつかい
もしつかりと
たさくひん
なまえもと
じようずです。

大月 悠生
小二 8級
一じーお手本
をよく見てげん
きよくかけた作
品です。名前も
すばらしい。こ
れからもこのち
ようしでがんば
ってね。

伊藤 菜桜
小四 1級
半紙いっぱに菜
桜さんの元氣あ
ふれた作品です。
今後は終筆(最
後の押え)を丁
ねいに書くこと
に良くなると
思います。

白幡 朱莉
小五 三段
明るくすっきり
とした線で伸び
やかに形良く書
けています。さ
らに上の段位を
目指してこれか
らがんばって
ください。

佐々木 更
小六 準六段
「湖」のバランス
が見事で完成度
の高い作品です。
今後は名前の練
習にも力を入れ
ると更に上が目
指せます。頑張
ってね。

溝口 結音
小六 準二段
思い切りのよい
筆運びにとても
魅力を感じる作
品です。名前も
作品の一部です。
名前の練習に力
を入れましょう。
期待大!

道下 凜花
中二・三 特待生
書き始めから名
前まで集中した
完成度の高い作
品です。さすが
特待生ですね。
最近の一般部へ
の挑戦も見事!
期待しています。

硬筆部最優秀作品

(5月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

ねこが	いっ	びき
はらっぱ	は	しる
ねこ	と	びこえ
ばった	か	けっ
かね	け	うな

漢字を分類するとき、形のうえで目印とするものを部首といい、へんやつくりなどの部分が使われます。

木上 紗希

次の日、昼休みに春花はろう下で勇太とすれちがった。そのときだった。春花はそつと何かをわたされた。わたしと勇太は急いで行ってしまった。

大橋 遥夏

ライオンは喜んでメスを迎えた。子分のオスは、自分よりも小さくて弱そうなことを注意深く確かめた。こうして思いがけなく、自分の群れを初めて持つことになった。

金子 小和

春に	なる	と
たんぽ	の	黄色
い	きれ	いな
が	さ	さます
西村	ひ	なの

漢字を分類するとき、形のうえで目印とするものを部首といい、へんやつくりなどの部分が使われます。

宮崎 芽生

私たちの体の動きと心の動きは密接に関係しています。例えば、私たちは悲しいときに泣く、楽しいときに笑うというように、心の動きが体の動きに表れます。

村崎 美南

待望の、自宅の完成。おめでと〜。自然に恵まれた素晴らしい環境。理想の住まい。目を輝かせ、喜んで入居しよう。そろそろ着工した頃、せめて新居を見に行きたいと思ふ。別荘に、お父さんの品を送らせていた。さあ、笑顔を向けよう。よりあまは書面にてお祝います。

福嶋 真子

言葉遊びにはいろいろあり、それぞれに楽しさがあります。言葉遊びを楽しんでみましょう。

伊東 隼汰

次の日、昼休みに春花はろう下で勇太とすれちがった。そのときだった。春花はそつと何かをわたされた。わたしと勇太は急いで行ってしまった。

藤井 夏希

ライオンは喜んでメスを迎えた。子分のオスは、自分よりも小さくて弱そうなことを注意深く確かめた。こうして思いがけなく、自分の群れを初めて持つことになった。

藤原 沙衣

タイトルに凝る作家とそうでない作家。夏目漱石は後者の代表格で、概ね素っ気ない。名高いデビュー作も「猫」とするか、それとも書き出しの一文をそのまま使うかと考えていた。

福田 喜久恵

金子 ゆうな 小一 準7級
おてほんをよくみてとてもよくうづにいつしようけんめいかけましたね。このちようしでこれからおけいこがんばってね。

西村 姫菜乃 小二 準5級
力づよいせんでむずかしいかんじも形よくかけています。名前までいつしようけんめいにれんしゅうのできた作品です。

伊東 隼汰 小三 3級
明るくすっきりとした線にバランスよく書いています。行の中心に気をつけるのとさらによくなると思っています。がんばってね。

木上 紗希 小四 準二段
むずかしいペンを使つて一字一字しつかりと力強く書いています。ペンを軽く握ると伸びやすさが増すと思います。期待大。

宮崎 芽生 小四 1級
一字一字とても丁寧に形良く書いています。今後は行の中心に気をつけてさらに上の段位を目指しがんばってくださいね。

藤井 夏希 小五 準五段
明るくすっきりとした線にとても魅力ある作品です。漢字と平仮名のバランスも良く、さすが上位有段者の作品です。

大橋 遥夏 小五 準三段
書き始めから名前まで集中力を切らさずしっかりと書けた作品です。今後は、書く時の姿勢や持ち方に気をつけて頑張ってください。

村崎 美南 小六 五段
漢字と平仮名のバランスが良く作品を明るくまとめた点が素晴らしい。今後は、線に勢いが出るとさらに良くなると思っています。

藤原 沙衣 中学 準特待生
ペンの使い方、お手本の捕え方、どちらも見事で大人顔負けの素晴らしい作品です。頂上まであと一歩です。頑張ってください。

金子 小和 中学 準六段
お手本の細部までよく観察し、一字一字とても丁寧に書いています。全体的にもう少し大きく書くにとさらに良くなるでしょう。

福嶋 真子 一般 師範正
文字の大小・抑揚の変化が自然で、自己のリズムが心地良い白眉な作品です。コロナ禍で書くの素晴らしい素晴らしさを再認識ですね。

福田 喜久恵 一般 師範
楷書作品を明るく気負いなく纏められた点に腕の確かさを感じます。基本がしっかりとしたとても完成度の高い作品です。